

令和4年度 第1回浪江町都市計画審議会 議事録		
日時	令和5年1月11日(水) 13:30~14:25	
場所	浪江町役場 本庁舎 3階301会議	
案件名	浪江都市計画浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更(第1回)について	
出席者	委員	佐藤 秀三(会長) 鈴木 仁根 佐々木 茂夫 松本 トミ子 高野 一郎 阿久津 雅信(欠席) 門馬 和枝 鈴木 教弘 平本 佳司 紺野 則夫
	事務局	建設課 課長 戸浪 義勝 " 主幹兼中心市街地整備室長 今野 裕仁 " 中心市街地整備室係長 上野 幹一 " 中心市街地整備室主査 大村 孝 " 中心市街地整備室副主査 木村 正信
	オブザーバー	UR都市機構 東北震災復興支援本部 福島復興支援部 浪江復興支援事務所 まちづくり整備課 課長 滝田 真 " 主査 加藤奈帆子

○協議内容

1. 開会(進行:浪江町建設課中心市街地整備室副主査 木村)

2. 委員の任命・委嘱状交付

- ・吉田町長より委員へ委嘱状を交付する。
- ・委員の任期については、令和5年1月11日から令和7年1月10日まで。

3. 挨拶(浪江町町長 吉田 栄光)

- ・一言ご挨拶申し上げます。委員の皆さまにおかれましては、何かとご多忙のところ、ご出席を賜り、ありがとうございます。また、日頃より、町政各般にわたりまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
- ・さて、都市計画は、住民が安全で快適な生活をおくり、企業などが効率的な経済活動を営めるよう、まちづくりを進めるためのものです。まちの将来の姿を決定するものですので、識者の方々の幅広い観点からご知見を賜り、ご審議いただきたいと考えております。どうぞ忌憚のないご意見をお願いいたします。

- ・次に、本町の大きな動きについて、お話させていただきます。

本日ご審議いただく浪江駅周辺整備事業につきましては、現在、道路や宅地などの基盤整備の実施設計を行っております。また、建物につきましては、公営住宅の基本設計に着手しており、順次、商業施設、交流施設と進めてまいります。浪江駅東西自由通路・駅舎につきましては、整備に向けて、JR東日本と協議を行っているところです。町民の皆さまから大きな期待を寄せられている復興事業の目玉ですので、迅速な整備に努めてまいります。

- ・次に、福島国際研究教育機構についてでございますが、おかげさまで当町に立地が決定しました。ふれあいセンター西側が立地場所となっております。

機構は、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指すものです。多くの研究者や関係職員の勤務、関連企業の立地が見込まれますので、町の発展に大きく寄与するものと期待しております。今後、都市計画を考えていく上で、大きな整備事業となりますので、よろしく願いいたします。

- ・加えて、F-REIについて、私の今の考え方についてお話しさせていただきたい。研究施設については今年度から研究費の予算がつきました。また、4月から準備事務所が発足して、当町で様々な活動が始まってまいります。この中身について、皆様がよく聞くことではありますが、浪江町に立地が決定した翌日から、近隣の自治体から「我々にはどういった波及効果をもたらされるのか」と、隣接町村含め県内各地の団体から意見が出てきています。F-REIが立地する自治体の町長としてはこのような考えを持っています。拠点は当町にある。またロボットテストフィールドや震災遺構など国や県の復興事業が進められてきました。これもある意味日本が誇る先進技術の研究開発だと思っています。これらとは必ずや連携をしていくでしょう。ただ、それぞれの求める箱のようなものだけのものではF-REIの考え方には進化していかない。F-REIの基本的な考え方というのは、被災3県、岩手・宮城・福島の多くの住民の方が希望や夢を持てるものであるという大きな大儀があります。その上で、この波及していくであろうものは、一つ大きなものが隠れたものあると考えております。それは、それは世界水準の研究者が浪江町に集い、今後新たな日本経済を支える研究・技術、原子力、放射線など様々に関する先進技術の研究が始まるわけであり、その中で研究されたものが実証、実用化される流れになる。これが日本経済を救う大きなエンジンになってくると、よく復興加速化本部長の額賀先生がおっしゃっていると思うが、私も至極当然だと考えております。当町で研究されたものが福島県の県民や経済を支える、そういった研究が実用化されてこの復興を支えていくものと私は確信しており、本日お集りの方にもご参考にできればとお話をさせていただきました。

- ・結びに、本町都市計画行政への一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げまして、挨拶といたします。どうぞよろしく願いいたします。

4. 会長の選出

- ・浪江町都市計画審議会条例第4条の規定に基づき委員の互選により選出
- ・協議の結果、佐藤秀三氏が会長に選出される。

5. 浪江都市計画の概要説明

(説明者：浪江町建設課中心市街地整備室係長 上野)

- ・浪江都市計画浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更（第1回）の概要について説明

6. 議事

【議案第1号 浪江都市計画浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更（第1回）について】

(説明者：浪江町建設課中心市街地整備室係長 上野)

- ・今回の浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更は、事業区域を拡大し、土地利用計画を変更するものです。

<別添資料に基づき、都市計画変更内容を説明>

- ・今回の都市計画変更の内容の縦覧において、町民の方からいただいた意見書は6件ありましたが、今回の都市計画変更案の内容に関する意見は0件でした。意見書についてはその要旨を審議会に報告することになっておりますので、意見書の要旨と町の見解をご説明させていただきます。

<別添資料に基づき、意見書の要旨と町の見解を説明>

(議長：佐藤秀三氏)

ただいまの説明について、ご意見・ご質問はございませんか。

(委員：門馬和枝氏)

- ・自由通路の基礎調査の結果を踏まえて自由通路の位置を変更したとのことですが、変更前はスポーツセンター寄りの位置にあつて、そのほうが利便性が高いのではないかと感じています。どういった理由で変更になったのか教えていただきたい。

(事務局)

- ・今回の変更では、JRとの協議結果を踏まえて多少自由通路の位置を変更したものです。実際には、自由通路を含む歩行者専用道路はロータリーを囲むように整備することを考えており、歩行者にとって利便性が高いものにしていく予定です。今回の変更によって、歩行者の動線が大きく変わるということはありません。今後の設計の中でも、歩行者が歩きやすいものとなるように配慮しながら設計を進めてまいります。

(委員：門馬和枝氏)

- ・今回の都市計画変更の内容ではないけれど、ランドデザイン基本計画では、太陽光パネルが大量に設置される計画となっています。再生エネルギーを安定的に主力電源とするためには廃棄物問題は避けて通れないと考えていますが、20年後、30年後に廃棄となった際の廃棄物処理についてどのように考えているか、参考までにお聞かせいただきたい。

(事務局)

- ・廃棄物処理については社会的に大きな課題として捉え、今後国内外の事例研究等を行いながら検討していきたいと考えております。

(委員：佐々木茂夫氏)

- ・駅西側の水路の形状を変更することだが、水路で隔てられている三角形の「特定公益的・特定業務施設」用地が残っているように見えるが、一体的な利用ができるようになっているのでしょうか。

(事務局)

- ・水路は上部の車両通行も可能なボックスカルバートで整備することを考えており、水路上部の用地は一体的な利用ができるようにしたいと考えております。図面上は「特定公益的・特定業務施設」が水路で分かれています、実際には一体的な利用が可能となります。

(委員：佐々木茂夫氏)

- ・新町通りの旧東邦銀行の前の交差点には、北から南方向に牛渡川に排水する水路があり、事業区域の面積が広くなることによって排水流出量が増えると下流の排水能力に耐えられるものとするように十分配慮して、大雨時にも新町通りから東側に影響がないよう計画にしていきたいと考えているが、現在の計画ではどのようなになっているのか教えていただきたい。
- ・昔は遊水地があったが、市街化によって遊水地の周辺が埋め立てられ、近年の集中豪雨によって河川の周辺が冠水する例が増えていて、計算上は問題ないとなっても現実には浸水問題が発生しているということがあるので、完全に全く影響が出ない計画とするように配慮をお願いしたい。

(議長：佐藤秀三氏)

- ・私も事あるごとに、雨水排水対策はどうなっているのかよく質問するのですが、既存の用水路で今でも浸水することがあるので、今回の事業区域外の対策も行わないといけないのではないかと考えているがいかがでしょうか。

(事務局)

- ・以前から、事業によって周辺地域に影響が出るようでは困るとご意見いただいていることも踏まえて、町では、今回の整備によって雨水排水にどのような影響が出るのかを確認しながら検討を進めております。引き続き、事業区域内外のどちらも影響の出ないように、努めてまいります。

(委員：佐々木茂夫氏)

- ・浪江町の都市計画の中で、都市公園の利活用が重要になってくると考えています。近年日本全国で、自然とのふれあいや、屋外だけではなく、室内で運動できる施設を設けて健康増進を図ることが重要になってきていると思います。今後、都市公園のあり方をよく考えていた

だきたい。

(事務局)

- ・ご要望として承ります。

【その他意見、質問なし】

(議長：佐藤秀三氏)

それでは裁決に移らせていただきます。「議案第1号 浪江都市計画浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更（第1回）」について賛成される方の挙手を求めます。

【全員挙手】

賛成全員であります。本案は、議案のとおり可決されました。

7. その他

- ・今後のスケジュールは、1月下旬から2月上旬に復興整備協議会を実施し、その後復興整備計画の公表をもって都市計画変更となる。
- ・並行して、事業計画認可の変更の手続きを進めており、2月に申請、3月に変更認可となる予定。

8. 閉会

○協議結果

- ・浪江町都市計画審議会による協議により、議案第1号浪江都市計画浪江駅周辺地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設の変更（第1回）については、原案のとおり承認された。